

## 情報公開文書

課題名 : 肺腺癌における CT 浸潤径と病理浸潤径の差異

研究期間: 倫理委員会承認日～2022 年 12 月 31 日

### 1. 研究の対象

2013 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の期間に当院で肺がんの手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

現在、肺がんの手術を施行する前の「病期」と呼ばれる病気の進行度合いを示す指標(臨床病期)は CT 画像で腫瘍径を測定することにより決定されています。手術を受けられた場合、摘出した腫瘍を病理診断による浸潤径を測定することにより最終的な病期(病理病期)が決定されます。これら 2 つの手法の差が、その後の経過にどのように影響するかを検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢・性別等の基本情報、病歴、治療歴、CT 画像、病理診断結果 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者 山下貴司が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 浜松市中区富塚町 328 浜松医療センター

所属: 呼吸器外科 山下 貴司

電話: 053-453-7111 (代表)